



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 企画管理部長 (氏名) 渡邊 繁樹

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,928	31.4	1,184	75.0	1,168	75.9	827	82.0
29年3月期第3四半期	8,318	9.9	677	33.5	664	32.8	455	41.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 867百万円 (93.1%) 29年3月期第3四半期 449百万円 (41.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	339.10	
29年3月期第3四半期	186.29	

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,592	6,466	55.8
29年3月期	10,716	5,754	53.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,466百万円 29年3月期 5,754百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期		7.50			
30年3月期(予想)				37.50	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の1株当たりの期末配当金は7.50円となり、1株当たり年間配当金は15.00円となります。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	21.6	1,330	37.6	1,310	37.1	920	42.6	376.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,605,900 株	29年3月期	2,605,900 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	164,771 株	29年3月期	163,695 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,441,655 株	29年3月期3Q	2,442,474 株

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、雇用・所得環境及び企業業績の改善、設備投資及び生産の緩やかな増加などにより、景気は緩やかに回復しております。一方、海外においても、景気は緩やかに回復しておりますが、景気の先行きについては、中国を始めアジア新興国等経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期の売上高は前年同期比2,609百万円増収（31.4%増収）の10,928百万円、営業利益は同507百万円増益（75.0%増益）の1,184百万円、経常利益は同504百万円増益（75.9%増益）の1,168百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同372百万円増益（82.0%増益）の827百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

## [アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場（ドル建て）は、主産地である中国において、環境規制による操業停止などで需給逼迫懸念から、第1四半期は緩やかな上昇で始まり、5月初旬に9,000ドル台の高値をつけた後、4月から5月末にかけて実施された中国政府による環境監査の終了に伴い、供給不足の懸念が急速に解消し、7月中旬には7,900ドル台まで下落しました。その後、余剰在庫の減少により上昇に転じ、8月下旬に8,500ドル台をつけた後、小幅な上げ下げを繰り返し、12月末時点では8,100ドル台となっております。

当第3四半期の相場は前年同期との比較で、ドル建てでは20.4%、円建てでは26.1%とそれぞれ上昇しました。

同事業の販売状況につきましては、堅調な自動車部品向けに加え、難燃製品の需要回復と中国販売子会社での販売増により、販売数量は前年同期比445トン増加（8.5%増加）の5,704トンとなりました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売数量の増加と原料価格上昇に伴う販売価格の上昇により、前年同期比1,677百万円増収（40.7%増収）の5,804百万円となりました。セグメント利益は、販売数量の増加により、同310百万円増益（297.5%増益）の415百万円となりました。

## [金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第3四半期平均でトン当たり743,000円となり、前年同期比30.3%の上昇となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、スマートフォン関連需要に加え、軟磁性材向けの販売も堅調に推移しましたので、販売数量は前年同期比162トン増加（18.1%増加）の1,060トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉の販売状況につきましては、自動車部品及び家電部品向けが堅調に推移しましたので、販売数量は前年同期比205トン増加（16.4%増加）の1,452トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比367トン増加（17.1%増加）の2,512トンとなりました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売数量の増加と主原料である銅の国内建値の上昇に伴う販売価格の上昇により、前年同期比932百万円増収（22.3%増収）の5,107百万円となりました。セグメント利益は、電子部品向け金属粉の販売好調により、同197百万円増益（35.9%増益）の748百万円となりました。

## [その他]

不動産賃貸事業の当第3四半期の売上高は17百万円（前年同期比0.2%減収）、セグメント利益は16百万円（前年同期比0.4%減益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,298百万円となり、前連結会計年度末と比べ884百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が553百万円、商品および製品が314百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,293百万円となり前連結会計年度末と比べ9百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、11,592百万円となり、前連結会計年度末と比べ875百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,855百万円となり、前連結会計年度末と比べ273百万円増加いたしました。これは主に設備支払手形の増加157百万円等により、その他が262百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,270百万円となり前連結会計年度末に比べ110百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が115百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,125百万円となり、前連結会計年度末と比べ163百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,466百万円となり、前連結会計年度末と比べ712百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により827百万円増加したこと及び配当により152百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.8%（前連結会計年度末は53.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年10月25日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判明した時点で、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,393,613	2,375,838
受取手形及び売掛金	1,836,923	2,390,646
商品及び製品	1,027,819	1,342,387
仕掛品	227,470	196,460
原材料及び貯蔵品	790,838	884,586
その他	143,313	116,534
貸倒引当金	△5,645	△7,640
流動資産合計	6,414,333	7,298,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,448,823	1,408,524
機械装置及び運搬具(純額)	697,429	759,246
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	203,351	233,246
有形固定資産合計	3,828,194	3,879,609
無形固定資産	45,673	43,411
投資その他の資産	428,735	370,354
固定資産合計	4,302,604	4,293,375
資産合計	10,716,938	11,592,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	924,271	970,506
電子記録債務	335,338	360,374
短期借入金	1,632,000	1,652,250
未払法人税等	218,346	196,081
賞与引当金	134,141	75,181
その他	337,801	600,784
流動負債合計	3,581,899	3,855,178
固定負債		
長期借入金	938,000	822,500
退職給付に係る負債	328,931	338,094
資産除去債務	35,680	36,033
その他	77,897	73,702
固定負債合計	1,380,509	1,270,330
負債合計	4,962,408	5,125,509
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	4,295,556	4,970,914
自己株式	△149,135	△152,193
株主資本合計	5,729,272	6,401,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,217	59,099
為替換算調整勘定	5,038	6,006
その他の包括利益累計額合計	25,256	65,106
純資産合計	5,754,529	6,466,679
負債純資産合計	10,716,938	11,592,189

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,318,986	10,928,654
売上原価	6,926,498	9,016,616
売上総利益	1,392,488	1,912,038
販売費及び一般管理費	715,289	727,139
営業利益	677,199	1,184,898
営業外収益		
受取配当金	2,268	2,937
助成金収入	60	3,928
その他	14,816	9,063
営業外収益合計	17,144	15,928
営業外費用		
支払利息	16,151	16,286
休止鉱山費用	8,854	10,157
その他	5,005	5,539
営業外費用合計	30,011	31,983
経常利益	664,331	1,168,843
特別利益		
固定資産売却益	2,999	—
投資有価証券売却益	—	29,100
特別利益合計	2,999	29,100
特別損失		
固定資産売却損	21	—
固定資産除却損	1,084	3,622
特別損失合計	1,106	3,622
税金等調整前四半期純利益	666,225	1,194,320
法人税、住民税及び事業税	181,686	354,566
法人税等調整額	29,522	11,784
法人税等合計	211,209	366,351
四半期純利益	455,015	827,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	455,015	827,969



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	455,015	827,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,364	38,882
為替換算調整勘定	△12,053	967
その他の包括利益合計	△5,688	39,849
四半期包括利益	449,327	867,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,327	867,819

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,126,719	4,174,938	8,301,657	17,328	8,318,986	—	8,318,986
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	99	37,185	37,285	—	37,285	△37,285	—
計	4,126,819	4,212,123	8,338,943	17,328	8,356,271	△37,285	8,318,986
セグメント利益	104,516	551,081	655,598	17,066	672,664	4,534	677,199

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額4,534千円はセグメント間取引の消去4,534千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,804,301	5,107,053	10,911,355	17,299	10,928,654	—	10,928,654
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	43,043	43,043	—	43,043	△43,043	—
計	5,804,301	5,150,097	10,954,398	17,299	10,971,697	△43,043	10,928,654
セグメント利益	415,410	748,895	1,164,305	16,992	1,181,298	3,599	1,184,898

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額3,599千円はセグメント間取引の消去3,599千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。